

「いま、つながりを生きる」



「コロナウイルスが感染拡大しているせいでお花が全く売れなくて参ったよ」

先日、お花屋さんを営むあるご門徒さんから聞いた言葉です。私は、はじめコロナウイルスとお花の売り上げにどう関わりがあるのか、今ひとつ分かりませんでした。「なぜですか?」と伺いますと、その方は「三月、四月は、卒業式や入学式、結婚式なんかがどんどん中止になっていくでしょう。お花の出番がなくなってしまうんですよ」と少し寂しそうにお話をしてくださいました。

私はそれを聞いた時、あらためて人間はつながりを生きているのだと感じました。私はコロナウイルスとお花屋さんは一見なんの関わりもないように思い込んでいましたが、そうではないのです。世の中全体が抱えている問題を私たちは必ずこの身に受けていきます。世の中は大変だけど、「私はとっても幸せだ」ということは起こり得ないのです。なぜなら、私たちは「つながり」を生きているからです。

お釈迦様はつながりを生きている私たちのあり方を「縁起^{えんぎ}」とお示しく下さいました。私たちはつながりを生きているからこそ、もう一度そのつながり方を確かめて欲しいという願いが込められたお言葉のように思います。コロナウイルスの感染拡大の終息が見えない情勢の中、「一体これからどうすればいいのか」と途方に暮れてしまうこともあります。しかし、「こういう時だからこそ 出会える人、学べること、そして聞こえてくる声があるのではないのでしょうか。南無阿弥陀仏の教えを通して、私たちが直面している「危機」が人とのつながりを確かめ直す「機会」に、そして、それが仏様の願いを聞く「機縁」となることが、いま、願われています。

昭和区・恵林寺 えりんじ 荒山 あらかやま 信 まこと